

# 総務財政常任委員会会議録

令和5年8月22日(火曜日)

鹿 角 市 議 会

## 出席委員等（5名）

委員長	金澤大輔	副委員長	湯瀬誠喜
委員	宮野和秀	委員	兎澤祐一
委員	笹本真司		

---

## 欠席委員（0名）

---

## 事務局出席職員

事務局長	花ノ木正彦	書記	青山智晃
------	-------	----	------

---

## 説明のため出席した者の職氏名

総務部長	金澤修	総務部検査官兼契約検査室長	金田一延寿
総務部付部長待遇	奈良巧一	監査委員事務局長	村木正幸
総務部付次長待遇	木村正樹	会計管理者兼会計課長	畠山修
総務課政策監兼行政班長	似鳥映	総務課政策監兼デジタル行政推進室長	黒澤昌基
総務課危機管理監兼危機管理室長	佐藤智紀	総務課付課長待遇	黒沢書彦
総務課付課長待遇	本田浩之	政策企画課長	成田靖浩
財政課長	相川保	財政課政策監兼管財地籍班長	佐藤洋輔
総務課主幹兼職員班長	工藤伸哉	総務課危機管理室主幹	児玉健司
財政課主幹兼財政班長	田村宏一	総務課副主幹	青山真
総務課副主幹兼秘書班長	畑澤正樹	総務課デジタル行政推進室副主幹	木村貴宏
政策企画課副主幹兼政策推進班長	石木田真知子	政策企画課副主幹兼鹿角ライフ促進班長	似鳥恵美子
政策企画課総合戦略室副主幹兼総合戦略室長	成田仁文	会計課副主幹	木村陽子
選挙管理委員会事務局副主幹	古川昭子		

## 午前9時58分 開会

### 【開 会】

○金澤委員長 委員の出席が定足数に達しておりますので、ただいまより総務財政常任委員会を開会いたします。

### 【委員長挨拶】

○金澤委員長 ここで、委員及び職員の皆様をお願いいたしますが、会議記録を作成する関係上、発言の際は委員長の許可を得た上で、お手元にありますマイクスイッチをオンにして、赤色のランプが点灯してから発言願います。

また、発言終了後は、マイクスイッチをお切りくださいますようご協力をお願いいたします。

なお、委員長の許可がない発言については、会議記録上、不規則発言として記載されることとなりますので、徹底してくださるようお願いいたします。

### 【所管事項の報告について】

○金澤委員長 それでは会議次第に従い進めてまいります。

初めに、所管事項の報告を受けます。順次報告を受けた後、項目ごとに区切って質疑を受けてまいります。

それでは、順次報告願います。総務部長。

○金澤総務部長 それでは、所管事項の報告を申し上げます。

2ページ以降の別紙資料をご覧ください。

総務部所管の報告事項は、全部で7項目ございますが、それぞれ各担当からご説明申し上げますので、よろしくをお願いいたします。

○金澤委員長 政策企画課長。

○成田政策企画課長 2ページをお願いいたします。

1、鹿角キャンパス構想の推進についてですが、本市では、域学連携を推進するため、高等教育機関が存在しない鹿角を一つのキャンパスに見立て、本市を舞台とした学生の交流や教育研究活動、地域貢献活動を通じ、高等教育機関と地域の連携を促進する鹿角キャンパス構想を進めておりますが、今年度の活動をご説明いたします。

まず武蔵野大学との取組ですが、武蔵野大学は平成30年から本市をフィールドとした研究活動を開始、令和2年に包括的連携協力に関する協定を締結しており、今年で5回目の受入れとなります。

今年の研究テーマは、「中心市街地の未来を形に」、「かづのDMO体験プロジェクト」、「U I タ

ーン起業研究プログラム」の3つで、昨年度より4人多い33人の学生を受け入れております。

活動期間と研究テーマですが、8月6日から13日「中心市街地の未来を形に」には14人参加しておりますが、昨年度の研究を踏まえ、学生による市民への街頭インタビューやワークショップを通じ、中心市街地の魅力を具体化し産業に結びつけるビジネスプランが検討され、8月12日に成果発表会が行われました。また、鹿角未来アカデミーという形で市内の中高校生10人も参加し、大学生と一緒に活動しております。

8月14日から27日「かづのDMO体験プロジェクト」には11人が参加しておりますが、あんとらあや宿泊施設等での実習、マーケティング調査等を通じ、稼ぐ鹿角観光の取組を学ぶとともに、世界文化遺産の視察やユネスコ無形文化遺産「花輪祭の屋台行事」の体験を通じて、本市の歴史文化を守りながら、国内外の観光需要を取り込む観光文化振興について調査研究を行っております。

9月4日から13日「U I ターン起業研究プログラム」には8人が参加する予定ですが、農業、食品製造業、小売サービス業の分野で活躍する先駆者に対し、動機や成功事例、課題等についてインタビューとインターンシップを通じた企業経営の分析を行い、U I ターンによる本市での起業の可能性、本市ならではのライフスタイルを研究する予定です。

「かづのDMO体験プロジェクト」の報告会は8月26日（土）14時、「U I ターン起業研究プログラム」は9月12日（火）14時から、どちらもまちなかオフィスで実施いたします。

また、本市ならではのサテライトキャンパスの実現に向けて、昨年度に引き続き、まちなかオフィスに武蔵野大学鹿角サテライト拠点を設置しており、プレートを設置しております。なお、去る8月1日には市長が武蔵野大学を訪問し、現在実施しているフィールド・スタディーズに加えて、プログラムの通年化を学長等にトップセールスしております。

次に、(2)大正大学との連携についてです。

まず、連携の経緯であります。令和4年2月、内閣府の「地方へのサテライトキャンパス等設置に向けたマッチングのための調査・支援事業」に申請したところ、令和4年6月に採択されました。内閣府から事業を受託している一般財団法人日本開発構想研究所から、本市の地域課題や強みを踏まえた大学のターゲットやリストアップの支援を受け、大正大学地方創生学科を紹介され、今年4月、担当職員が大正大学を訪問し、副学長等に本市の域学連携の取組状況を説明しております。

その際、大学側から地域構想研究所の取組の説明を受け、地域共創コンソーシアムへの参画を依頼され、今後、大正大学との連携を強化することとして、7月5日付で同コンソーシアムに参画いたしました。

その後、大学側からインターンシップの受入れ依頼がありましたので、10月10日から20日まで、公共政策学科の学生3名を受入れいたします。

将来的には、武蔵野大学と同様、サテライトキャンパスの設置を目指してまいります。

3ページをお願いいたします。

2、ふるさと納税制度改正に伴う事業者説明会の開催についてですが、6月27日に総務省より、ふるさと納税制度の運用について、10月から変更される部分が発表されたため、制度改正の内容及びそれを受けた本市の取扱いについて、返礼品提供事業者に向けた説明会を開催いたします。

日時は8月30日の18時から、会場は花輪市民センター講堂です。

制度改正の主な内容としては2点です。

1つ目は、募集に関する費用について、ワンストップ特例事務や寄附金受領書の発行などの付随費用も含めて寄附金額の5割以下とする。

2つ目は、加工品のうち熟成肉と精米について原材料が当該地方公共団体と同一の都道府県産であるものに限り、返礼品として認めるというものであります。

本市への影響が大きいのは1つ目で、これまで対象外経費だった、寄附金に係る受領書の発行事務費用、ワンストップ特例に係る申請書の受付事務費用、職員人件費のうち兼任職員のふるさと納税に関する業務に係る部分のほか、ふるさと納税ポータルサイトや中間管理事業者への委託料等も全て経費に含んだ上で5割以下に抑える必要があります。

これを受け、本市の方針としては、節約できるコストは可能な限り節減を図った上で、寄附金額の見直し・寄附設定額の増額をすることで、経費負担を抑えたいと考えております。

今回の制度変更は、非常に影響が大きいにも関わらず、年度途中で、しかも時間もあまりない中での変更であり、返礼品事業者の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をいただけるよう丁寧に説明していきたいと考えております。

3、定住相談会についてですが、7月19日と8月2日、鹿角家実家 *k e m a k e m a* において、移住者を対象とした相談会を開催しました。

相談員は、NPO法人 *c l a s s y* の会員で、移住経験者が自らの経験を踏まえ、相談者の立場に立ったアドバイスをすることで、その後の定住につなげることを目的とした初めての取組となります。

相談者数は2日間で5人でしたが、相談内容としては、バスの便数が少なく交通が不便、ワーキングスペースが欲しい、移動販売のための駐車場の確保を支援してほしいなど、公共交通や仕事に関するものでした。

今後も定期的に相談会を開催し、移住者への不安や悩みに寄り添い、安心して鹿角暮らしができるようNPOと連携を図ってまいります。

4、関わりしろ体験ツアーですが、これは関係人口創出を目的とした鹿角家事業の一つですけれども、地域の困りごとや鹿角に関わりたいことを関わりしろとし、関わりしろを通じた交流を図るものです。

今回の参加者は、東京都在住でスポーツ広告代理店を経営し、二地域居住を検討されている方で、産業活力課の事業所訪問がきっかけで鹿角家の会員となり、地方での居住地探しとして本市の訪問の希望がありました。

今回は、中滝ふるさと学舎を訪問していただき、スタッフ業務のお手伝いのほか、集客力向上に向け経営者目線からアドバイスをいただいております。その他、花輪スキー場やテレワークスポットであるまちなかオフィスなどの見学、居住候補となる物件の相談等を実施しております。

説明は以上です。

○金澤委員長 財政課長。

○相川財政課長 4 ページの 5、令和 5 年度普通交付税の決定状況について、説明させていただきます。

別添の資料 1 で説明させていただきます。

令和 5 年度の普通交付税の交付決定額、表上の H は、68 億 1,644 万 3,000 円に決定となっております。

前年度に比べ 5,205 万円、0.8%の減であります。

なお、県内 25 市町村全体で見ますと、前年度比 0.8%の増となっております。

次に、算定式の区分毎の増減についてであります。初めに区分欄 A の基準財政需要額は、101 億 7,858 万 3,000 円となり、前年度に比べて 1,334 万 1,000 円、0.1%の増となっております。

主な要因であります。社会福祉費や生活保護費などが減少したことにより、B の振替前基準財政需要額が前年より減少しましたが、この振替前基準財政需要額から控除することとなる、C の臨時財政対策債振替相当額が大幅に減少したため、全体としてはほぼ前年度並みの規模となっております。

次に、区分欄 D の基準財政収入額は、33 億 5,755 万 1,000 円で、前年度と比較して 7,523 万 7,000 円、2.3%の増となっております。

主な要因は、地方消費税交付金や市民税所得割などの増加によるものです。

A の基準財政需要額から、D の基準財政収入額を差し引き、これに E の錯誤額を加えたものが、

Fの交付基準額となりますが、昨年度は交付税検査が行われなかったため、錯誤額はゼロとなっております。

そして、この交付基準額の全国集計の結果が国の交付税予算を超える場合は、Gの調整額という形で減額がなされ、これを反映させた結果がHの交付決定額となります。

次に、先ほど基準財政需要額でも触れた、Cの臨時財政対策債振替相当額ですが、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入の増加が見込まれ、臨時財政対策債への振替が抑制されたことで、今年度は5,478万円となり、前年度と比較し6,823万2,000円、55.5%の大幅な減となっております。

最後に、Iの実質的交付税額ですが、これはHの交付決定額に、Cの臨時財政対策債振替相当額を加えた実質的な交付税の規模を表すものですが、今年度は68億7,122万3,000円となり、前年度と比較して1億2,028万2,000円、1.7%の減となっております。

以上で説明を終わります。

○**金澤委員長** 奈良総務部付部長待遇。

○**奈良総務部付部長待遇** 消防本部からは、項目6と項目7について報告いたします。

初めに、6の消防署十和田分署の耐震診断結果についてであります。先の鹿角広域行政組合議会6月定例会の所管事項でも報告いたしましたが、十和田分署については、施設整備に向けた建物の状況把握のため耐震診断を実施し、その結果、耐震基準を満たしており建物の強度も十分保たれているとの報告を受けました。

このことから、十和田地区の消防力維持に向け、今後は改修も含めた同分署の整備の方向性について再検討してまいります。

次に、7の第60回秋田県消防操法大会についてであります。去る8月19日（土）秋田県消防学校を会場に開催された同大会のポンプ車操法の部に、鹿角支部消防訓練大会で優勝した鹿角市消防団第5分団が支部代表として出場しました。

その結果、県内各地区支部から7チームが出場しましたが、同分団が令和元年の第56回大会以来、通算で4度目となる優勝を飾ることができました。

今年度は、この種目における上位大会はありませんが、今回の優勝により選手の努力はもちろんですが、本市消防団の消防技術の高さと団結力をさらに増すことができたと感じております。

以上で消防本部の所管事項の報告を終わります。

○**金澤委員長** 所管事項の報告が終わりましたので、これより質疑を受けます。

初めに、報告事項1の「鹿角キャンパス構想の推進について」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。兎澤委員。

○**兎澤委員** 「中心市街地の未来を形に」ということで8月6日から13日まで、これ実際に成果報告が8月12日にあったようですけども、この内容でどういう意見が出たか、その辺ちょっと確認をしたいのですが。

○**金澤委員長** 成田副主幹。

○**成田政策企画課総合戦略室副主幹 兼 総合戦略室長** 中心市街地の活性化についてということで、主に商店街の活性化に関する意見がございました。学生が商店街を歩いて見たところ、フリースペースが少なかったとか、娯楽施設が少ない、魅力的な商店も少ないという意見がありましたし、また、ほかの班では人の集まる街を目指してということで、商店街ではなく中心市街地全体の活性化の話になりますけれども、鹿角の魅力を活用したイベントの開催等ができないかといったようなアイデアが出されております。

今回出された意見につきましては、来年度また武蔵野大学で同じ研究をするわけなんですけれども、今回まとめた内容を基に来年は実践に移りたいということですので、今後報告書が大学でまとめられていきますけれども、どういったことができるかということの研究してもらうことになっております。

○**金澤委員長** 兎澤委員。

○**兎澤委員** 意見とか、実際にその商店街等にどうやって反映していくかという部分は、どういう方向性で考えていますか。

○**金澤委員長** 成田副主幹。

○**成田政策企画課総合戦略室副主幹 兼 総合戦略室長** 大学生が自ら中心市街地に来年は入って、我々が何かできることがないかということを次年度で実践していただきたいと考えております。

○**金澤委員長** 兎澤委員。

○**兎澤委員** これは実際に商店街側の人方は、実際にこういう意見が出たよとか、そういうところは反映されているのか。商工会等でもいいんですが、その辺はどういうふうな形になっているのか。

○**金澤委員長** 成田副主幹。

○**成田政策企画課総合戦略室副主幹 兼 総合戦略室長** 今後、大学側で報告書を今年度取りまとめることとなっております。そちらのほうは、商店街や商工会のほうに提供していき、一緒に取り組んでいきたいと思っております。

○**金澤委員長** 兎澤委員。

○**兎澤委員** 今現在の状況でもシャッターが下りている商店が結構あるわけで、やはり中心市街地とは言え、なかなか継続的に商店を維持していくことすら大変な状況の中にあるわけで、やっぱり鹿角市民としても、何かしら商店が活気づくような形で方向性を持たせてくれるのは大変にありがたいことだと思っていますので、その辺実際に実践の部分、最後の部分まで徹底してやる方向で担当者にはお願いしたいと思いますが、心意気はいかがなものでしょうか。

○**金澤委員長** 成田副主幹。

○**成田政策企画課総合戦略室副主幹 兼 総合戦略室長** 机上の空論で終わらないように、今回学生が気づいた点を来年どういった形にまとめ上げるかは、これから報告書のほうで記載していきますけれども、ぜひ鹿角の中心市街地の活性化につながるようなアイデアを取りまとめてもらえられるように期待しております。

○**金澤委員長** ほかにございませんか。兎澤委員。

○**兎澤委員** 大正大学との連携ということで、これから地域共創コンソーシアムへの参画の内容をちょっと教えてもらえる。

○**金澤委員長** 成田副主幹。

○**成田政策企画課総合戦略室副主幹 兼 総合戦略室長** 今回、内閣府の協力を得まして鹿角の強みを生かした大学誘致というものを進めさせていただいております。中でも大正大学のほうは、地方創生に力を入れておりまして、今回その学部のほうを紹介いただいたところです。

現在、大正大学では 105 自治体とこのコンソーシアムに加入させていただいて連携しているわけですけれども、今回鹿角市もこれに加わることになりまして、秋田県内では初となりますけれども、こちらのほうで地方創生に関する課題解決に向けた取組を進めていきたいと考えております。

○**金澤委員長** 兎澤委員。

○**兎澤委員** 武蔵野大学は商店街とかそういうところへ焦点を絞っているようだけれども、大正大学のほうは鹿角全体を見据えた上でという形の取組になるのでしょうか。

○**金澤委員長** 成田副主幹。

○**成田政策企画課総合戦略室副主幹 兼 総合戦略室長** 今回内閣府のほうと話を詰めていった中では、エネルギーを活用した地方創生ということで話を進めさせていただいております。

フィールドとしては、全域になろうかと考えております。

○**金澤委員長** ほかにございませんか。笹本委員。

○**笹本委員** 武蔵野大学の今の商店街のところに関してなんですけれども、兎澤委員もおっしゃられたんですけれども、商店街とか実際の当事者の方とのベクトルというか認識合わせとか、そうい

った部分の進め方ってどうなっているのかなというのが1点と、あとは大学なのでいろいろ見ただけじゃなくて、客観的なデータなども利用すると思うんですけども、その辺りのデータ提供とか調査とかはどういうふうになっていますか。

○金澤委員長 成田副主幹。

○成田政策企画課総合戦略室副主幹 兼 総合戦略室長 今回の中心市街地の活性化の研究については、昨年度から3か年計画で進めさせていただいております。

昨年度は、商店街の店主のほうや商工会、それから中心市街地に立地している事業所のところに直接アポイントを取って、そちらにインタビューするという内容になっておりました。

今年度は、学生は市民をターゲットとしてアンケートを取ることにしまして、街頭インタビューという形を取らせていただいております。

アンケートの件数もかなりの件数になりましたので、そちらを大学側でも分析をしますけれども、我々もそのデータを提供いただいて、こちらで政策研究所も運営しておりますので、一緒に研究のほうは進めていきたいと考えております。

○金澤委員長 笹本委員。

○笹本委員 そうすると出来た報告書は市民一般に対しても公開され、説明会みたいなものを実施される予定なんですか。

○金澤委員長 成田副主幹。

○成田政策企画課総合戦略室副主幹 兼 総合戦略室長 報告書は大学側の経費で作成されて、昨年度も我々提供をいただいております。こちら、関係した方々に提供のほうはさせていただいておりましたが、今年度も同じように報告書を取りまとめる予定となっておりますので、その報告につきましては全市民にできるよう検討していきたいと思っています。

○金澤委員長 笹本委員。

○笹本委員 市長がトップセールスで通年化を依頼されたということなんですけれども、この通年化に当たっての課題というか、どういうところが今後必要になってくるのかということに関して教えてください。

○金澤委員長 成田副主幹。

○成田政策企画課総合戦略室副主幹 兼 総合戦略室長 通年化に当たっては、受入れ体制の整備が一番の課題となっております。大学側も通年化に至るに当たって、学生の滞在費等々の経費がかかるということが一番危惧しているということをお聞きしております。

我々としましても、昨年度は空き家を活用して、そこを学生の宿舎にさせていただいたわけなんで

すけれども、なかなか空き家も適当な物件を見つけるのも難しいですし、トラブルも多いということで今年度は八幡平のほうにある旅館を活用させていただいております。どうしても学生の費用がかかるわけですので、通年化されるようになりますと市で建物を整備するといった方向性も一つあるのではないかなと我々のほうでは思っていて、安価な提供を今後進めていければと考えております。

○金澤委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○金澤委員長 ないようですので、次に、報告事項2の「ふるさと納税制度改正に伴う事業者説明会の開催について」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。笹本委員。

○笹本委員 説明で、関係する費用の5割以下に抑えるということだったんですけれども、現状だと、全体でも返礼品でも説明しやすいところでいいんですが、事業としてどのくらいの金額がかかって、経費としてトータル何割くらいかかっている状況なんでしょうか。

○金澤委員長 石木田副主幹。

○石木田政策企画課副主幹 兼 政策推進班長 これまでも経費については5割以下に抑えるということで、返礼品が3割以下とその他の経費を合わせて5割以下に抑えなければならないことにこれまでもなっております、その中には送料ですとか、あとは中間管理業者に委託している部分、あとは市としてPRするための経費等を合わせまして、令和4年度の実績でいきますと44%ほどとなっております。これまで対象外経費だったものも含まれることによって現状5割を超えるような状況でありますので、それを5割以内に抑えるということが必要になりますので、これを事業所と一緒に検討していきたいと考えております。

○金澤委員長 笹本委員。

○笹本委員 質問の趣旨としては、現状だと新基準に当てはめるとどれくらいになる状況でしょうか。

○金澤委員長 石木田副主幹。

○石木田政策企画課副主幹 兼 政策推進班長 現状ですと、昨年度の実績のところでは試算をしてみますと、6割ほどになっております。

○金澤委員長 笹本委員。

○笹本委員 そうすると事務経費とか、そういった経費だけではなくて、あとは返礼品の原価自体とかいろいろなところを調整しながら抑えていくという理解でよろしいでしょうか。

○金澤委員長 石木田副主幹。

○石木田政策企画課副主幹 兼 政策推進班長 まずは、今回募集に関わる費用というところで大きく制度改正がされましたので、それに含まれてくる部分の市として負担している経費の見直し、徹底的なコスト削減を図ります。また、返礼品等については、今後事業者説明会がございますけれども、そこをどのようにするかという、現在検討しているのが寄附額の設定を増額するということになります。事業所への負担がなるべくないように考えていきたいと考えております。

○金澤委員長 ほかにございませんか。兎澤委員。

○兎澤委員 ふるさと納税の事業は、総務省の管轄だと思うんだけど、多分総務省からの通達でこうなっていると思うんですけども、総務省の狙ってどこにあると感じていますか。これ、ふるさと納税をやらせたくないような感じの改正。

○金澤委員長 石木田副主幹。

○石木田政策企画課副主幹 兼 政策推進班長 今回の制度改正が6月27日に告示されたものなんですけれども、恐らく狙いとしては、もともとふるさと納税の制度自体が、例えば地方に住んで生活していた人たちが都会に行って、都会で働くようになって都会に納税するところから、自分たちを育ててくれたふるさとへ納税したいという自分たちの意思を反映したのが制度の始まりだったかと思うんですけども、昨今ですと、やはり返礼品というところで自治体間の競争が激化しているようなところもございまして、圧倒的に自治体間の不公平ですとか、経費として含まれる部分含まれない部分ということで曖昧な部分がありましたので、そういったところの経費を総体的に全て含むという制度基準を明確化したということと、あとは自治体によっては納税額に影響し、都市部からの税の流出ということも叫ばれておりますけれども、そういったところの不公平を解消するというような意味もあるのかなと感じております。

○金澤委員長 兎澤委員。

○兎澤委員 例えば返礼をするに当たっては1万円の金額が多数を占めているような状況。そうするとやっぱり経費がどうしても負担になるという形になると思うんですけども、そういう感じなんでしょうか。

○金澤委員長 石木田副主幹。

○石木田政策企画課副主幹 兼 政策推進班長 返礼品の割合は3割以下ということになっておりますけれども、寄附額が低ければ低いほどかかる経費率というのはどうしても高くなりますので、やはり寄附設定額自体を上げなければこの解消が図られないと感じておりますし、鹿角市としましてはそのように取り組む方向でおりますけれども、これは全国的にも恐らく寄附額が底上げされるのではないかと感じております。

○金澤委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○金澤委員長 ないようですので、次に、報告事項3の「定住相談会について」、並びに報告事項4の「関わりしろ体験ツアーについて」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。兎澤委員。

○兎澤委員 さっき説明の中で伺ったんですが、ワーキングスペースがあればというような話があったんですけど、まちなかオフィス辺りにワーキングスペースを設ける形とか、そういう対応を今しているんじゃないんですか、どうなんですか。その辺の確認を。

○金澤委員長 似鳥副主幹。

○似鳥政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長 今回の移住者の方は、まちなかオフィスがあるのをご存じていらっしゃるかと思うんですけども、それ以外でも自由に仕事ができる場所などを、自分の住まいの近い場所などに求められていると伺っております。

○金澤委員長 兎澤委員。

○兎澤委員 じゃあやっぱり、花輪だけじゃなく毛馬内なり大湯なり、何か所かに拠点があったほうがいいのか、そのほうが対応がしやすいという捉え方ですか。

○金澤委員長 似鳥副主幹。

○似鳥政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長 今回の相談はそのような内容になっております。

○金澤委員長 兎澤委員。

○兎澤委員 つくったらいいじゃないですか。やっぱり空き店舗とかすごく多くなってきているじゃないですか。毛馬内の商店街とか洋服屋さんしかやっていないような状況の中で、権利の問題とかいろいろあるかとは思いますが、その辺を開拓しながらそういうオフィスに使用できるような形で働きかけていくことも必要ではないかなと私すごく思っているんですけども、その辺は市としてはどう考えているんですか。

○金澤委員長 似鳥副主幹。

○似鳥政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長 今回の定住相談会は、手探り状態で始めたばかりでして、今まだ移住者の方の相談を聞き取りしている段階であります。今後定期的に開催していきますので、意見をある程度集約した段階で担当課のほうにこういった意見があるということで情報提供をしていきたいと思っております。

○金澤委員長 兎澤委員。

○兎澤委員 今回、視察に行ってきてですね、学校跡地とかいろんな状況を学校が合併する前からこちらの行政の方々は手を打っていて、そういうワーキングスペースなんかもどんどん人が出入り

できるような形につくっているんですね。だからそういう面から言うと、鹿角はすごく遅いなどという対応の仕方が、学校が合併してからじゃあこれどうしましょうかという対応の仕方をしてるものだから、非常に後手後手に回っているという感じをすごく受けたんです。なのでもっともっと、やっぱり先手で今の学校もそうだし、いろんな空いているところを活用できるような形のを、ある程度持ち主もあるでしょうから協定みたいなものでも何でもいいので、その辺をつないでいくっていうか。そういうのを前に進めれるような状況をつくってもらえればなって、すごく感じてきたんですけれどもどうでしょうか。

○金澤委員長 似鳥副主幹。

○似鳥政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長 ワーキングスペースに関しましては、担当の産業活力課ともいろいろ共有しながら進めていきたいと思っておりますけれども、空き家に関しましては、こちらのほうでは移住者の促進をメインで行っておりますので、今後こういったご意見が多ければそちらのほうも前向きに検討するように担当課と相談していきたいと思っております。

○金澤委員長 政策企画課長。

○成田政策企画課長 空き店舗、空き家が増えているという大きな課題がありますので、それをどう活用するかというのは非常に大きな問題だと捉えておりますので、今は空き家に関しては空き家バンクという形で希望者がいれば斡旋するというのもやっておりますけれども、状態が悪い空き家も多いので、なかなか進まないというところもありますので、その辺がうまく民間に活用できるような仕組みというのを検討しなければならないと思っております。

○金澤委員長 ほかにございませんか。笹本委員。

○笹本委員 3の定住相談会について、いらっしゃった方ってどういう告知で来られた方なのかというのと、あと収入源として大きく分けて、農業とかそういうところで自立したいという考え方の人と、最近結構仕事自体は東京の会社に持っていてパソコンでできますよっていう方も多いと思うんですけれども、そういう中だと生計の立て方っていうのは、どういう傾向を考えている方が見られるのかというのを教えてください。

○金澤委員長 似鳥副主幹。

○似鳥政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長 今回の相談会ですけれども、移住者のフォローアップの窓口となっているc l a s s yと相談を進めて、急遽開催することとなりました。告知につきましては、c l a s s yのSNS・ホームページ・インスタグラム・フェイスブック、あとはk e m a k e m aの中で告知をするという形のみでありましたので、今回は参加者が5人ということで少ないわけでしたけれども、今後は広報なども活用して広く周知をしていきたいとc l a

s s y と相談しております。

今回の相談者に関しましては、お子さんをお持ちの母親の方でしたので、どちらかという子供が伸び伸び生活できるような過ごし方の相談であったりとか、仕事に関する相談というよりは生活環境に関するような相談のほうが多かったです。

○金澤委員長 政策企画課長。

○成田政策企画課長 補足しますけれども、データはないんですけれども、やはり農業に関心があるという方が多いのかなという印象はございます。テレワークでという方もちらほら見受けられますけれども、あまり多くはないかなと思っておりまして、その辺はもっと周知していきたいと思っております。

○金澤委員長 笹本委員。

○笹本委員 あと4の関わりしろ体験ツアーについてなんですけれども、ここで実際に交流された1人の方からのご意見とか、その感想というものはどういうものがあつたのでしょうか。

○金澤委員長 似鳥副主幹。

○似鳥政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長 今回は中滝ふるさと学舎の集客力を高めるために経営者目線でアドバイスをいただきたいということで、関わりしろ体験ツアーを実施いたしましたが、コロナも落ち着きましたので、今まで体験していたイワナつかみ取りなどの体験の復活と資源が大変豊富であることから、新たな体験の考案をしたらどうかというアドバイスがありました。また、カフェの雰囲気にとっても印象をよくお持ちになりまして、メニューも豊富であることからホームページ等でもっと写真などを掲載して、学舎のよいところを表に出したほうがよいのではないかとアドバイスをいただいております。

○金澤委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○金澤委員長 ないようですので、次に、報告事項5の「令和5年度普通交付税の決定状況について」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。兎澤委員。

○兎澤委員 今回の交付決定額がマイナス0.8%ということで、例年どおりくらいの金額だというお話でしたが、これ先ほどの説明だと自主財源が増えたというようなニュアンスをちょっと受けたんですけど、税収が上がっているからという話も出たんですけれども、そういう形で今回減額になっている状況なんですか。

○金澤委員長 田村主幹。

○田村財政課主幹 兼 財政班長 先ほど課長が説明したとおりであります、基準財政需要額支出

のほうなんです、社会福祉費また生活保護費などが減少したことによって需要額が減っております。また、収入額のほうであります、地方消費税交付金については、国税の地方消費税の収入の増を国のほうで見込んでいます。また、市におきましては、市民税の所得割について増加しておりますので、そちらのほうを加味しまして収入が総合的に増加し、支出が減少しているということで交付税のほうが増加した格好となります。

○金澤委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○金澤委員長 ないようですので、次に、報告事項 6 の「消防署十和田分署の耐震診断結果について」、並びに報告事項 7 の「第 60 回秋田県消防操法大会について」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。兎澤委員。

○兎澤委員 私、中に入ったわけではなくて、十和田分署はいつも外から見させてもらっているんですけども、これ外壁等も大分老朽化してきているように見えるんですが、耐震診断の結果って数字的な部分も含めて外壁と中の状況、相当古くなっていると思うんですが、これでも大丈夫だという根拠を教えてください。

○金澤委員長 黒沢課長待遇。

○黒沢総務課付課長待遇 数値的なところなんです、耐震性能ということで基本的な基準が 0.6 というのがあります。その 0.6 に対して X 軸、これは東西方向なんですけれども、それが最小で 0.98 ありました。Y 方向に関しましては、最小で 1.11 ということで最低限の基準が 0.6、これに耐震等級、いろいろ建物の条件等加算要素を含めても耐震的にはクリアしているという結果が出ております。ただ、先ほど兎澤委員もおっしゃられました外壁等に関しましては、やはり築 48 年経過ということで外観を見ていただければ凍害とかいろいろあって、そういうところのコンクリートの脱落等が見られるという評価をいただいております。

○金澤委員長 兎澤委員。

○兎澤委員 これ普通の住宅やビルとかでもそうなんだけれども、一般的なものであれば 0.6 が基準だというのは分かるんだけど、実際にやっぱり公共の建物であればせめてその 1.5 倍から 2 倍ぐらいの耐震性能は本来必要になってくるわけですよ。そうでないと災害時、地震とかあったときにクリアできるとは言っても、なおかつ実際本体自体が被災するような状況ではまずいわけですから、その辺のところも十分検討して改修工事をやる方向でお願いしたいと思っておりますが、その辺の考えはいかがでしょうか。

○金澤委員長 黒沢課長待遇。

○黒沢総務課付課長待遇 先ほど消防長からの報告にもありましたとおり、今回の結果を踏まえてあくまでも改修も含めて今後検討していきたいところが現状であります。もし改修するにしても外壁もそうですし、そこに勤務されている方の環境的にも今どきのところではないので、改修するのであればそういうところもちゃんと検討してやっていきたいというところであります。

○金澤委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○金澤委員長 ないようですので、所管事項の報告についてはこれで終わります。

#### 【案 件】 付託事件の審査について

○金澤委員長 次に案件に入り、(1)付託事件の審査を行います。

当委員会に、閉会中の審査事件として付託されております、市総合計画の推進についてであります。委員の皆様から質疑、ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○金澤委員長 それでは、市総合計画の推進については、今後においても継続審査すべきこととし、本日の閉会中の審査事件の審査はこれで終了したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○金澤委員長 ご異議ないものと認め、そのように決定いたします。

次に、(2)その他に入ります。

初めに、当局より説明願います。総務部長。

○金澤総務部長 私から、本日現在で取りまとめております、9月定例会提出予定議案についてお知らせいたします。

資料2をご覧くださいと思います。

9月定例会提出予定議案は、諮問案件が2件、議案が2件、認定2件の計6件を予定しております。このうち、諮問案件2件については、定例会初日での採決をお願いしたいと考えております。

なお、本日予定しております入札案件が成立しまして、仮契約締結の運びとなった場合は契約締結案件1件が本議案に追加となりますので、お含みおきいただきたいと存じます。

また、定例会最終日において、令和4年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告のほか、上水道事業会計及び下水道事業会計を除く一般会計、各特別会計の歳入歳出決算認定について追加を予定しております。

一般会計補正予算第6号については、財政課長が説明をいたします。

○金澤委員長 財政課長。

○相川財政課長 私から9月補正予算案の予定しております概要について説明いたします。

議案同様、本日現在で取りまとめておりますので、議案の提案時までには若干の変更もあり得ますので、その点お含みおきいただきますようお願いいたします。

資料3をご覧ください。

一般会計補正予算（第6号）であります。補正額は2億1,581万円で補正後の予算規模は、197億9,752万6,000円となります。

今回の補正は、固定資産税の納税義務者見直しに伴う還付金や、ふるさと鹿角応援寄附金の増加を見込んだ関連経費の増額など、当初予算編成後の状況変化に対応した事業費の追加などが主な内容となります。

それでは、主な内容について説明いたします。

庁舎管理費1,184万7,000円は、本庁舎火災報知設備の改修に係る工事費を追加いたします。

ふるさと鹿角応援寄附推進事業3,062万7,000円は、寄附見込み額の増に合わせ、返礼品購入費等を増額いたします。

ふるさと鹿角応援基金積立金5,000万円は、寄附見込み額の増に合わせた積立金の増額となります。

定住促進事業470万円は、申請見込みの増に伴い、ふるさとライフ移住しごと支援補助金を増額いたします。

市税還付金3,922万4,000円は、相続登記未了の固定資産税見直しに伴う還付金及び還付加算金を追加いたします。

認可保育施設整備事業206万8,000円は、毛馬内保育園の屋根改修に係る工事費を追加いたします。

かづの農業夢プラン応援事業495万8,000円は、改正食品衛生法に対応した漬物製造に必要な機械・施設の導入等を支援するため、かづの農業夢プラン応援事業費補助金を増額いたします。

米生産低コスト技術等導入支援事業1,760万7,000円は、米の需要が落ち込んでいることに加え、原油や資材の価格高騰により生産コストが増大していることから、スマート技術を活用した省力化・低コスト化に必要な機械・設備の導入を支援するため、米生産低コスト技術等導入事業費補助金を追加いたします。

化学肥料低減機械等導入支援事業924万4,000円は、肥料の価格高騰に対応し、化学肥料低減体系への転換を促進するため、施肥軽減や堆肥の利活用につながる機械等の導入を支援するため、化学肥料低減機械等導入支援事業費補助金を追加いたします。

農地総務事務費 50 万円は、全国で初めて本市で開催される水土里ネット男女共同参画推進大会の運営を支援するため、水土里ネット男女共同参画推進大会運営費補助金を追加いたします。

農業水利施設整備事業 176 万 5,000 円は、末広頭首工から取水している幹線用水路について、県が行う改修事業の採択に向けた申請書作成等の調査事業に係る負担金を増額いたします。

有害鳥獣被害防止対策事業 44 万 3,000 円は、鳥獣被害防止対策実施隊の県統一ユニフォームを導入するための消耗品費を追加いたします。

観光アクセス充実対策事業 455 万 8,000 円は、運行見込みの増に伴う「八郎太郎号」の運行委託料及び申請見込みの増に伴う大館能代空港利用促進助成金を増額いたします。

道路橋りょう維持管理費 189 万 2,000 円は、路面の補修が必要な市道について、道路維持作業委託料を増額いたします。

河川整備事業 1,971 万円は、護岸補修等が必要な豊真木沢川ほか 5 河川について、河川維持作業委託料及び河川整備工事費を増額いたします。

文化の杜交流館管理費 447 万 3,000 円は、地中熱ヒートポンプの故障等により、空調冷却に要する燃料消費が増加しているため、燃料費を増額いたします。

体育施設管理費 213 万 4,000 円は、水漏れが発生し運転を停止している鹿角トレーニングセンターの冷温水発生器ほか、故障設備等の修繕料を増額いたします。

補正第 6 号の説明は以上であります。

○**金澤委員長** 説明が終わりましたが、この後定例会中の委員会もございますので、説明のみとさせていただきますと思いますが、どうしても今回確認したい点などがございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**金澤委員長** そのほか、当局及び委員の皆様から何かございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**金澤委員長** ないようですので、その他についてはこれで終わります。

## 【閉 会】

○**金澤委員長** 以上をもちまして、本日予定いたしました事項の協議は全て終了いたしました。

当局におかれましては、ただいま出されました要望・意見等について十分検討され、それぞれ措置願いたいと思います。

それでは、ただいまの時刻をもって総務財政常任委員会を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。

**午前 10 時 54 分 閉会**